

# いしがき教育の日

子どもたちの学力向上と健全な心の育成を考える  
～うふひいとう たかぴいとうゆ なりたぼーり～

## 趣旨

市民が教育に关心と理解を深め、子どもたちの教育について考える日として定めた「いしがき教育の日」にちなみ、学校、家庭及び地域住民その他関係者が教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚し、子どもたちの学力向上と健全な心の育成について再考する機会とする。

令和8年 **日**  
**2月1日**

石垣市民会館 大ホール

14:30~16:45  
(開場 14:00)



- 1 アトラクション(登野城小学校)
- 2 開会
- 3 主催者あいさつ 教育長 崎山 晃
- 4 表彰式
- 5 激励のことば 石垣市長 中山 義隆
- 6 受賞者代表のことば
- 7 上映 「小学校へそれは小さな社会へ」
- 8 閉会



石垣市教育委員会 教育長  
石垣市学力向上推進委員会 委員長  
崎山 晃

本日ここに、「いしがき教育の日」を開催するにあたり、主催者を代表してご挨拶を申し上げます。「いしがき教育の日」は、市民一人ひとりが教育に関心を持ち、それぞれの立場で教育に参加し、行動していく機運を高めることを目的としております。平成20年の制定以来、本市では教育に関する活動を多角的に推進してまいりました。

本日は、教育功労者の皆様への表彰と、映画の上映を予定しております。表彰式では、いしがき教育の日表彰規程に基づき、これまで本市の教育に顕著な貢献をされた皆様への表彰を行います。学校教育、社会教育、文化や善行の分野において、長年にわたり市民の模範として尽力された皆様の献身的な取り組みに、深く敬意を表するとともに、心から感謝を申し上げます。

さて、本日は教育講演会に代わりまして、ドキュメンタリー映画「小学校へそれは小さな社会へ」を上映いたします。この映画は、小学校という場所が、単に知識を学ぶ場であるだけでなく、子どもたちが他者と出会い、葛藤し、共に生きる術を学ぶ「一つの小さな社会」であることを鮮明に映し出しています。スクリーンに映る子どもたちの姿を通して、皆様に問いかけたいと思います。「この『小さな社会』の中で、子どもたちが自分らしく、健やかに育つために、教育はどうあるべきか」。そして、「私たち大人は、この社会をどう支え、伴走していくべきか」。本日の上映が、皆様と共にこれから教育を考える貴重な機会となれば幸いです。

現在、国際化や情報化、少子高齢化といった急激な社会の変化が進んでおります。こうした中、本市教育委員会では「第4期石垣市教育大綱」に掲げた「一人ひとりの個性を尊重し、国際性、人間性豊かな人材の育成を目指す教育の推進」を目標としております。具体的には、「勇気づけの教育」を核とし、子どもたちが「問い合わせ」を持って主体的に学ぶ授業の実践や、多様な人との協働を通して、自立・自律した学習者を育成することに注力しております。また、ICT教育の充実や個別最適な学びの実現を通じ、新しい時代を切り拓く資質や能力を確実に育んでまいります。

子どもたちの生きる力を伸ばすためには、行政、学校、家庭、そして地域が手を取り合い、一体となって教育環境を整えていくことが不可欠です。引き続き、皆様お一人お一人の深いご理解と温かいご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、教育を支援する輪が全市民に広がることを願うとともに、本日ご参加の皆様のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、挨拶といたします。

## 「いしがき教育の日」ポータルサイトご案内(掲載内容)

### ○石垣市教育委員会 研究指定校

#### ◆石垣市立石垣中学校

探究心を持ち、自分の考えを表現できる生徒の育成

#### ◆石垣市立新川小学校

自立した学習者の育成

#### ◆石垣市立八島小学校

自分で考え、仲間と学び合い、共に高め合う八島っ子の育成



# 教育功労者表彰受賞者名簿

(表彰規程第2条・家庭及び地域関係者の推薦)

被表彰者名 (推薦者)	功績概要
すながわ ひろこ <b>砂川 ヒロ子</b> (八島小学校長)	平成25年度より「天川茶論会」を通じ、昔遊びや郷土料理作りなど、地域の高齢者と児童が交流する機会を提供しています。また、週2回の交通安全見守りやあいさつ運動を継続して実施し、児童の安心・安全な登校環境の確保とともに、地域と学校の絆を深める活動に貢献しています。
<b>中二組</b> <b>ハーリー委員会</b> (真喜良小学校長)	平成20年度より、6年生を対象としたハーリー体験や漁業に関する講話を継続して実施しています。マグロの解体ショーや魚さばき体験、昼食の提供など多彩なプログラムを通じ、児童が地域の産業や文化を学ぶキャリア教育の場を提供し、地域に根差した教育活動に多大な貢献をしています。
<b>真喜良小学校</b> <b>ふあーまー委員会</b> (真喜良小学校長)	平成13年度より四半世紀にわたり、朝の読み聞かせ活動や広報誌の発行を通じて、読書習慣の定着と家庭・学校間の連携強化に取り組んでいます。また、リサイクルバザーやベルマーク活動の収益で図書を寄贈するなど、児童の豊かな心の育成と教育環境の充実に尽力しています。
みやぎ ともかず <b>宮城 智一</b> (登野城小学校長)	過去5年間にわたり、学校田における稻作指導に尽力しています。田植えから収穫までの一連の工程を丁寧に指導し、児童が自然の恵みや食の大切さを学ぶ機会を創出しています。教科横断的な学びを深めるとともに、地域農家や保護者と連携し、学校と地域を結ぶ架け橋としての役割を果たしています。
<b>真栄里伝統芸能保存会</b> (真栄里公民館長)	獅子舞、棒術、旗頭などの伝統芸能を次世代に継承するため、25年にわたり指導・普及活動を行っています。豊年祭や地域の各種イベントでの演舞披露を通じて地域コミュニティの活性化を図るとともに、若年層への技術指導により青少年の健全育成と文化意識の向上に貢献しています。
くろいし たかこ <b>黒石 高子</b> (大浜中学校長)	大浜中学校郷土芸能部の舞踊外部指導者として、11年にわたり生徒の指導にあたっています。熱心な指導により県代表として3度の全国大会出場や次年度の出場決定など輝かしい実績に導きました。地域の伝統芸能継承を通じて、青少年の健全育成と郷土愛の醸成に大きく貢献しています。
おおしま かつひろ <b>大島 克博</b> (大浜中学校長)	大浜中学校郷土芸能部の地謡外部指導者として、8年にわたり生徒の育成に携わっています。卓越した技能による指導で、県代表として数度の全国大会出場へ導くなど高い功績を残しています。子どもたちへの伝統芸能の継承に情熱を注ぎ、青少年の健全育成に尽力しています。
はとま ちかお <b>鳩間 智佳男</b> (平真小学校長)	27年の長きにわたり、平真小学校6年生男子への「獅子舞・棒術」に伴う鳴り物(横笛・太鼓等)の指導を行っています。学習発表会に向けた夜間練習の指導や当日のサポートを献身的に行い、児童が地域伝統芸能の継承者としての自覚と誇りを持つ教育活動に大きく貢献しています。
もとむら ひろし <b>本村 洋司</b> (平真小学校長)	27年の長きにわたり、平真小学校6年生男子への「棒術」指導の中心的な役割を担っています。9種類ある棒の型の技術指導に加え、着付け等のサポートまで献身的に行い、児童への伝統文化の継承と郷土愛の醸成に努め、学校教育の充実に多大な貢献をしています。

## 表彰規程第3条(園児及び児童生徒の推薦)

<b>大浜中学校郷土芸能部</b> (大浜中学校長)	部員35名が一丸となり、地域の伝統文化継承に熱心に取り組んでいます。地域行事への出演や介護施設訪問などの活動を年間を通じて行い、地域ぐるみの教育活動を実践しています。その成果として通算4度の全国大会出場を果たすなど、他の生徒の模範となる役割を果たしています。
-------------------------------	---

ドイツ

『第24回 ニッポン・コネクション』  
最優秀ドキュメンタリー賞受賞

ボーランド

アメリカ

『第17回 ジャパン・カット』  
観客賞受賞

韓国

『第21回 EBS国際ドキュメンタリー映画祭』  
審査員特別賞

教育大国フィンランドでは20館の拡大公開で大ヒット

——海外からの熱いオファー続々と!

いま、小学校をることは、未来の日本を考えること

# 小学校 ～それは小さな社会～

THE MAKING OF A JAPANESE



監督・編集：山崎エマ

(『モンキービジネス おさるのジョージ著者の大冒険』『甲子団：フィールド・オブ・ドリームス』)

プロデューサー：エリック・ニアリ

撮影監督：加倉井和希 録音：岩間賀 エグゼクティブ・プロデューサー：安田慎 杉江亮彦 国寶瑞恵

コープロデューサー：ウーティ・ロス リュック・マルタン＝ゼ 金川雄策 著者：バイビー・タカラ

ミキサー：アンドリュー・トレイナー 共同編集：井手麻里子 鳥屋みづき 特別撮影：ジョンドニカ カーリスト：佐藤文郎  
製作・制作：シネリック・クリエイティブ 國際共同製作：NHK Pystymetsä Point du Jour YLE France Télévisions

製作協力：純牛乳楽部 配給：ハピネットファントム・スタジオ 宣伝：ミラクルワイス 宣伝協力：芽 inc.

© AFF2 2023年 | 日本・アメリカ・フィンランド・フランス | カラー | 99分 | 5.1ch

© Cineric Creative / NHK / Pystymetsä / Point du Jour

私たちには、いつどうやって日本人になったのか？ありふれた公立小学校がくれる、新たな気づき